



News Release

2019年7月19日

県伝統工芸技術を活用したギターづくりの研究成果公開

～学生主体で取組む高岡銅器の着色技法を利用したギター部品による新しい音色づくり～

<p>本学軽音楽部員・本学教員・県内企業が連携し、本学独自の取り組みである<u>地域志向研究支援</u>を受け、<u>県伝統工芸技術のギター部品への活用</u>による新しい音色・ギターづくりを行っています。下記日程で研究成果を公開しますのでご案内します。</p>

1 日時

2019年7月26日（金） 14時50分から

2 場所（別紙1ご参照）

富山県立大学 射水キャンパス（射水市黒河 5180） 東実験棟

3 主な研究参画者

<u>本学軽音楽部員</u>	機械システム工学専攻	博士前期課程 2年	伊藤 大世
	機械システム工学専攻	博士前期課程 1年	山口 達也
<u>本学教員</u>	機械システム工学科	講師	寺島 修
	機械システム工学科	准教授	宮島 敏郎
<u>県内企業</u>	株式会社 開進堂楽器	営業本部	山田 浩幸
	株式会社 開進堂楽器	楽器センター富山	水上 正太

4 成果の概要（別紙2ご参照）

高岡銅器の着色技法を活かして製作したギター用の部品(ピックガード)は、独特の質感・光沢・発色性をもち意匠面で優れた特徴を持ちます。この部品に関し、本学で学ぶ自動車やロボットなどの機械製品の振動騒音計測・解析技術を活用して研究を進めることで、この特徴に加え、部品に使用している金属の特性や装着方法に応じて、これまでの樹脂性の部品を使用した場合と異なる独特の音色を発現できることが明らかとなりました。

5 今後の展開

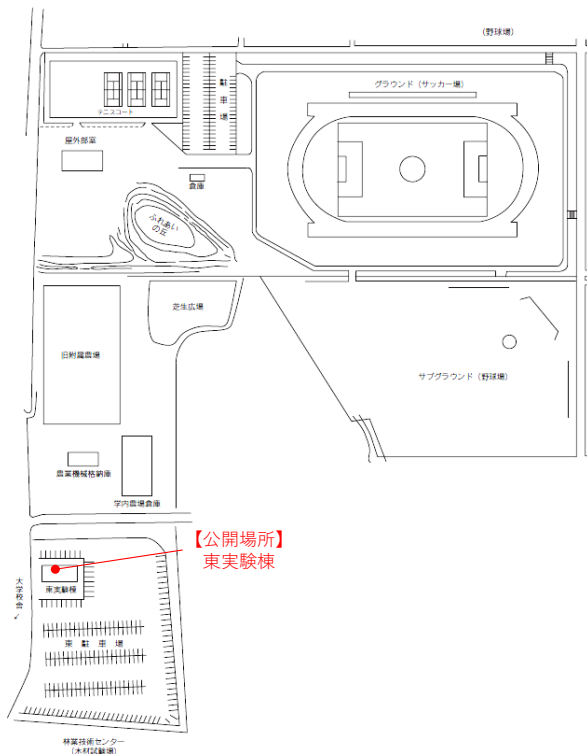
これまでの研究で得た知見を基に、この部品を用いた学生発案の新しいギターの設計・デザインを行います。また、以下の国際学会・国内学会で研究成果の発表を行います。

6 学生による成果発表・公開（予定含む）

★ 日本機械学会・北陸信越支部 第56期総会・講演会	2019年3月
☆ 日本実験力学学会 2019年度年次講演会	2019年9月
☆ 北陸技術交流テクノフェア 2019	2019年10月
☆ 実験力学に関する国際会議 (14 th ISEM'19)	2019年11月

【別紙 1】

富山県立大学 射水キャンパス (射水市黒河 5180) 東実験棟



● キャンパスマップ URL

<https://www.pu-toyama.ac.jp/about/access/map/>

● 東実験棟までのアクセス (動画)

https://www.pu-toyama.ac.jp/ME/nvfc/photo/Lab_Route.mp4

(以下の研究室 HP→Contact からアクセス可能です)

● 研究室 HP

<https://www.pu-toyama.ac.jp/ME/nvfc/index.html>



研究室 HP・QR コード